



クライアント アダプタのインストール

この章では、クライアントアダプタのファームウェア、ドライバ、ユーティリティ、およびセキュリティ モジュールのインストール方法について説明します。

この章では、次の項目について説明します。

- [クライアントアダプタ ソフトウェアのインストールまたはアップグレード \(P.3-2\)](#)
- [インストールの確認 \(P.3-14\)](#)
- [クライアントアダプタの設定方法の決定 \(Windows XP の場合\) \(P.3-15\)](#)
- [インストール済みの複数のクライアントアダプタからの選択 \(P.3-16\)](#)

クライアントアダプタ ソフトウェアのインストールまたはアップグレード

この項では、自己解凍型実行ファイル Win-Client-802.11a-b-Ins-Wizard-vxx.exe (xx はバージョン番号) を使用して、Cisco Aironet クライアントアダプタのファームウェア、ドライバ、ユーティリティ、およびセキュリティモジュールをインストールまたはアップグレードします。

Windows 2000 または XP を実行するコンピュータでクライアントアダプタソフトウェアをインストールまたはアップグレードする手順は、次のとおりです。



注意

Install Wizard を使用すると、クライアントアダプタのファームウェアは Install Wizard ファイルに含まれているバージョンに自動的にアップグレードされます。クライアントアダプタの 2 つの LED はいずれも、ファームウェアのアップグレードが行われる間、点灯し続けます。ファームウェアが更新されている間は、クライアントアダプタを取り出さないでください。



(注)

Windows XP には、PC カード、LM カード、または PCI カードを初めて挿入したときに自動的にインストールされるドライバが付属しています。このドライバを入手可能な最新のバージョンにアップグレードする手順は、次のとおりです。



(注)

Install Wizard バージョン 1.3 以降およびそのソフトウェアコンポーネントは、Cisco Aironet 340 シリーズまたは Windows 98、98 SE、NT、Me ではサポートされていません。



(注)

Install Wizard を使用しないクライアントアダプタソフトウェアのインストール、または旧バージョンからの更新を実行する場合は、このマニュアルのバージョン OL-1394-04 でインストール、構成、および操作の方法を参照してください。



(注)

インストール中に問題が発生した場合は、第 10 章でインストールエラーメッセージの一覧を参照してください。

ステップ 1 コンピュータの Web ブラウザを使用して次の URL にアクセスします。

<http://www.cisco.com/public/sw-center/sw-wireless.shtml>

ステップ 2 **Option #2: Aironet Wireless Software Display Tables** を選択します。



(注)

Display Tables 以外に Software Selector ツールを使用してソフトウェアをダウンロードすることもできます。その場合は、**Option #1: Aironet Wireless Software Selector** を選択し、画面の指示に従い、**ステップ 6** に進みます。

- ステップ 3 Cisco Aironet Wireless LAN Client Adapters をクリックします。
- ステップ 4 Aironet Client Adapter Installation Wizard (For Windows) の下の **802.11a/b (CB20A, 350 Series, 340 Series)** をクリックします。
- ステップ 5 リリース番号が最新の Install Wizard ファイルをクリックします。
- ステップ 6 暗号化許可フォームに入力し、ソフトウェア使用許諾契約の条項を読み、同意します。
- ステップ 7 ダウンロードするファイルをもう一度クリックします。
- ステップ 8 コンピュータのハードドライブにファイルを保存します。
- ステップ 9 クライアントアダプタをまだ挿入していない場合は、**第9章**の手順に従って挿入します。この手順は、PCカード、CardBus PCカード、およびPCIカードによって異なります。

**注意**

リブートを含むインストールプロセスの間は、クライアントアダプタを取り出さないでください。

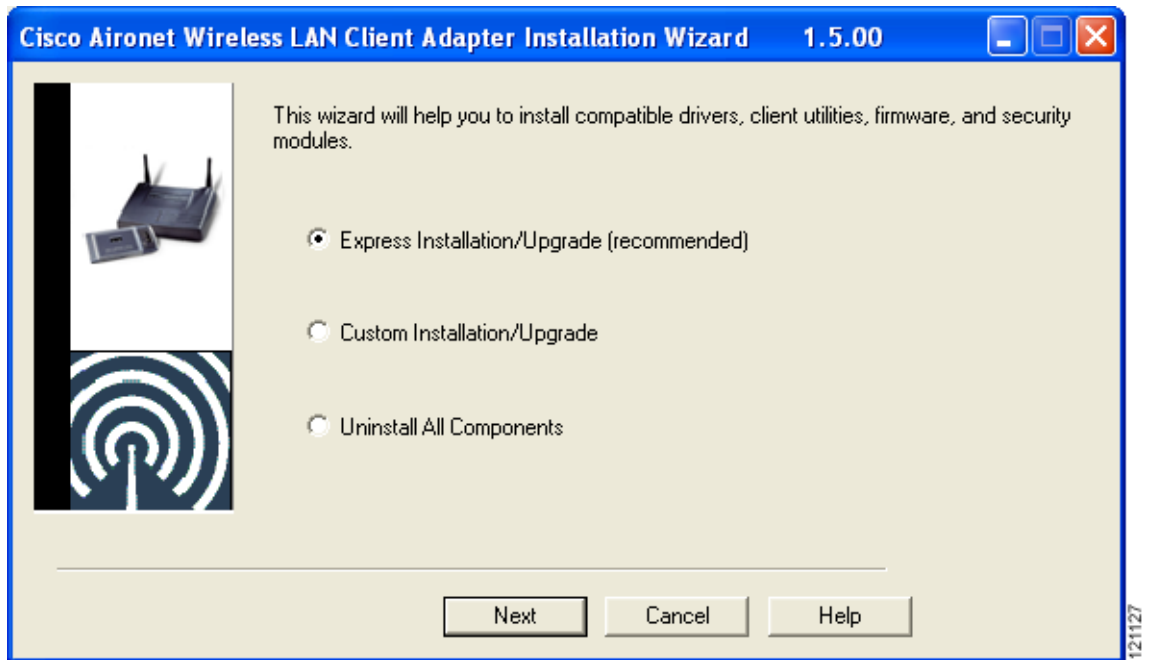
- ステップ 10 お使いのクライアントアダプタにドライバがインストールされていない場合、Found New Hardware Wizard 画面が表示されます。**Cancel** をクリックします。
- ステップ 11 Windows エクスプローラを使用して Install Wizard ファイルを探し、それをダブルクリックして、ファイルをフォルダ内に解凍します。

**(注)**

ファイルを解凍するには、WinZip Self-Extractor 画面の **Browse** をクリックして、ファイルを格納するフォルダを選択し、**OK** および **Unzip** をクリックします。ファイルを解凍した後、**OK** をクリックして画面を閉じます。

- ステップ 12 Windows エクスプローラを閉じます。Cisco Aironet Wireless LAN Client Adapter Installation Wizard 画面が表示されます (図 3-1 を参照)。

図 3-1 Cisco Aironet Wireless LAN Client Adapter Installation Wizard 画面



ステップ 13 Cisco Aironet Wireless LAN Client Adapter Installation Wizard 画面で次のオプションのいずれかを選択し、**Next** をクリックします。



(注) ソフトウェア コンポーネント同士の互換性を保つために、高速インストールの実行をお勧めします。カスタム インストールを実行する場合は、すべてのコンポーネントをインストールすることをお勧めします。

- **Express Installation/Upgrade (recommended)**: 表 3-1 に示されているデフォルトの値を使用してクライアント アダプタのファームウェア、ドライバ、クライアント ユーティリティ、およびセキュリティ モジュールをサイレントにインストールします。
- **Custom Installation/Upgrade**: インストールするソフトウェア コンポーネントを指定し、特定のパラメータのデフォルト値を変更できます。

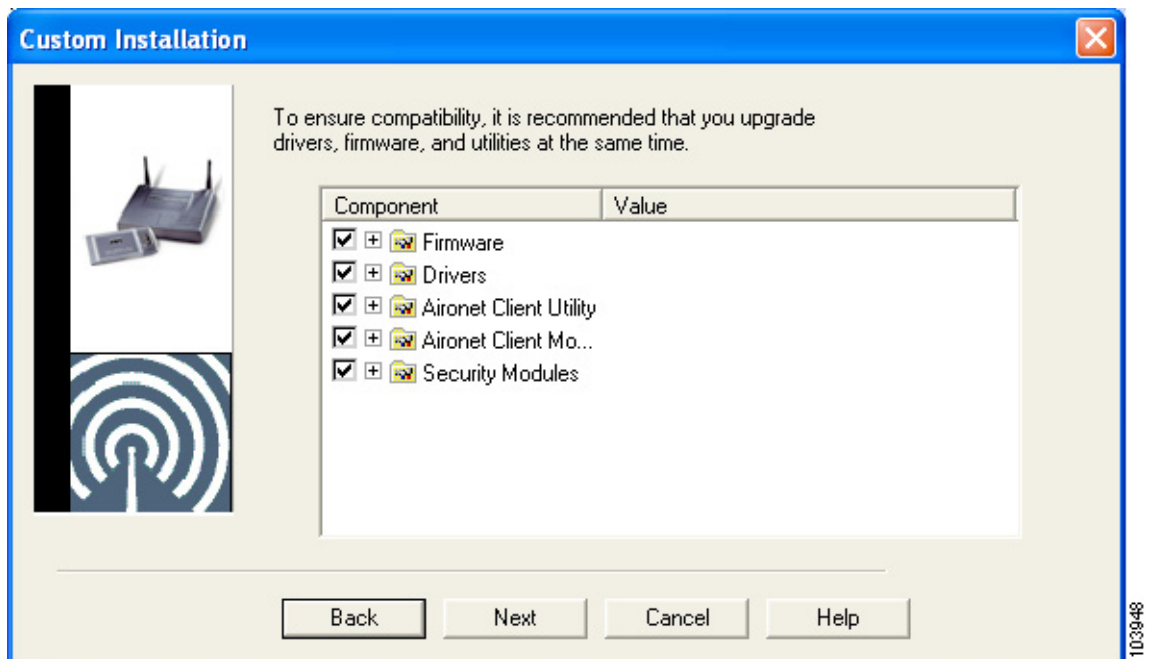
ステップ 14 インストール プロセスの最後にコンピュータの再起動を要求するメッセージが表示されたら、**OK** をクリックします。



(注) **Cancel** をクリックすると、インストール プロセスが終了します。

ステップ 15 高速インストールを選択した場合は、[ステップ 17](#) に進みます。カスタム インストールを選択した場合は、Custom Installation 画面が表示されます ([図 3-2](#) を参照)。

図 3-2 Custom Installation 画面



ステップ 16 この画面で設定を選択する手順は次のとおりです。

- a. インストールするすべてのソフトウェア コンポーネントの横に、チェック マークが付いていることを確認してください。チェック マークが付いたコンポーネントについて、Install Wizard はファイル内のバージョンのコンポーネントをインストールします。チェック マークが付いていないコンポーネントは、システムにある既存のバージョンがそのまま使われます。



(注) Security Modules オプションの横の + 記号をクリックして、使用できるセキュリティ コンポーネントを表示します。



(注) コンポーネントによっては、他のコンポーネントに依存するものがあります。そのため、それらのコンポーネントを選択または選択解除すると、その他のコンポーネントの設定が変更される場合があります。この場合、依存性の注意が表示されます。

- b. 各コンポーネントの横の + 記号をクリックして、追加パラメータを表示します。Value フィールドに各パラメータの現在の設定値が表示されます。
- c. パラメータの値を変更する場合は、Value フィールドの現在の値をクリックします。既存の値を変更するための画面が表示されます。
- d. 新しい値を入力または選択して、OK をクリックします。表 3-1 は、各コンポーネントとそのパラメータを示しています。デフォルト値がある場合は、それも示しています。

表 3-1 ソフトウェアコンポーネントとそのパラメータ

コンポーネントまたはパラメータ	説明
Firmware	Install Wizard ファイル内にあるファームウェアバージョンをインストールします。 デフォルト：オン
Disable Firmware Checking	Disable Firmware Checking パラメータは、Install Wizard に含まれているファームウェアではなく、ドライバにバンドルされているファームウェアに影響します。このパラメータは、いつロードしたドライバであっても、バンドルされているファームウェアをインストールするかどうかを制御します。  (注) ドライバはクライアントアダプタを挿入するかコンピュータをリブートするたびにロードされます。 オプション：Yes または No デフォルト：Yes
Disable Firmware Checking	説明
Yes	ドライバがバンドルされているファームウェアがインストールされないようにして、クライアントアダプタが現在のファームウェアバージョンを保持できるようにします。
No	現在クライアントアダプタにインストールされているファームウェアより新しいファームウェアがバンドルされている場合、ドライバがそれをインストールします。
	(注) Disable Firmware Checking パラメータは、ACU Preferences 画面上の Automatically Load New Firmware When NDIS Driver Is Updated パラメータと機能的に同等です。最後に設定されるパラメータは、ドライバの機能を支配するパラメータです。詳細は、「 ドライバが、ファームウェアをアップグレードしないようにする 」の項 (P.9-12) を参照してください。
	(注) Disable Firmware Checking パラメータは、Install Wizard version 1.1 以降で利用可能です。

表 3-1 ソフトウェアコンポーネントとそのパラメータ (続き)

コンポーネントまたはパラメータ	説明
Drivers	Install Wizard ファイル内にあるドライババージョンをインストールします。 デフォルト：オン
Set Quiet Mode?	<p>アソシエートしているアクセスポイントがオフに切り替えられたときに、クライアントが Quiet モードで動作する（パッシブにスキャンまたはリスンする）かどうかを指定します。Quiet モードでは、クライアントはアクセスポイント送信に直接応答する際のみ、無線周波エネルギーを生成します。アクセスポイントがオンに戻ると、ビーコンの送信が開始されます。クライアントは、それを検知して応答できます。</p> <p>このパラメータは、プロファイルではなくカード別に適用されます。設定内容はカードごとに異なることがあります。また、別の ACU セッションになったり、コンピュータがリブートされたりしても同じ設定が有効なまま維持されます。</p> <p>オプション：Yes または No</p> <p>デフォルト：No</p> <p> (注) Set Quiet Mode? パラメータは、Install Wizard version 1.3 以降で利用可能です。</p> <p> (注) Commands ドロップダウンメニューから Turn Quiet Mode On/Off オプションを選択することにより、ACU で Quiet モードの設定を変更することもできます。</p>
Aironet Client Utility	Install Wizard ファイル内にある ACU バージョンをインストールします。 デフォルト：オン
Installation Path	ACU ソフトウェアがインストールされるパスを指定します。新規パスを入力して、デフォルトのパスを変更することもできます。 デフォルト：C:\Program Files\Cisco Systems\Aironet Client Utility
Program Folder	ACU ソフトウェアがインストールされるプログラムフォルダを指定します。新規フォルダ名を入力して、デフォルトのフォルダ名を変更することもできます。 デフォルト：Cisco Systems
Place Icon on Desktop	インストールプログラムにより ACU アイコンがコンピュータのデスクトップに追加され、これによりこのユーティリティにすばやくアクセスできるようになります。 オプション：Yes または No デフォルト：Yes
Allow Non-Administrator Users to Save Settings to the Registry	Windows 2000 または XP が動作するコンピュータで、管理者権限を持たないユーザがプロファイルを ACU で修正し、レジストリへ保存できるようになります。 オプション：Yes または No デフォルト：Yes

表 3-1 ソフトウェアコンポーネントとそのパラメータ (続き)



コンポーネントまたはパラメータ	説明
Aironet Client Monitor	Install Wizard ファイル内にある ACM バージョンをインストールします。 デフォルト：オン
Installation Path	ACM ソフトウェアがインストールされるパスを指定します。新規パスを入力して、デフォルトのパスを変更することもできます。 デフォルト：C:\Program Files\Cisco Systems\Aironet Client Monitor
Program Folder	ACM ソフトウェアがインストールされるプログラムフォルダを指定します。新規フォルダ名を入力して、デフォルトのフォルダ名を変更することもできます。 デフォルト：Cisco Systems
Auto Start	Windows がブートするたびに ACM を自動的に起動するかどうかを指定します。 オプション：Yes または No デフォルト：Yes  (注) No を選択した場合、後で ACM を起動することができます。この場合、Windows エクスプローラで ACM ソフトウェアがインストールされているパスを見つけ、 ACUMon.exe をダブルクリックします。
Start After Install	ACM のインストール後に ACM を自動的に起動するかどうかを指定します。 オプション：Yes または No デフォルト：Yes  (注) No を選択した場合、後で ACM を起動することができます。この場合、Windows エクスプローラで ACM ソフトウェアがインストールされているパスを見つけ、 ACUMon.exe をダブルクリックします。

表 3-1 ソフトウェア コンポーネントとそのパラメータ (続き)

コンポーネントまたはパラメータ	説明																								
Program Feature Overrides	<p>有効にする ACM コンポーネントを指定します。このときにコンポーネントを選択せずに、後で使用する必要が生じた場合は、このインストールプログラムをもう一度実行し、使用するコンポーネントを有効にします。</p> <p>コンポーネント : 次の表を参照</p> <p>コンポーネント別のオプション : Enable または Disable</p> <p>コンポーネント別のデフォルト : Enable</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コンポーネント</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>About Box (Help)</td> <td>ACM のバージョン番号を表示し、オンラインヘルプにアクセスできるようにします。</td> </tr> <tr> <td>Exit Program</td> <td>すべてのクライアントアダプタで ACM を終了します。</td> </tr> <tr> <td>Launch Aironet Client Utility</td> <td>ACU がインストールされている場合、起動します。</td> </tr> <tr> <td>Troubleshooting</td> <td>トラブルシューティングユーティリティを起動します。このユーティリティを使用して、クライアントアダプタでの設定およびアソシエーションの問題を特定し、解決できます。</td> </tr> <tr> <td>Preferences</td> <td>ACM の実行条件を指定し、ACM ポップアップメニューに表示されるオプションを選択できます。</td> </tr> <tr> <td>Turn Radio On/Off</td> <td>クライアントアダプタの無線のオン/オフを切り替えます。</td> </tr> <tr> <td>Reauthenticate</td> <td>クライアントアダプタに対して、現在のプロファイルのユーザ名とパスワードとを使用して再認証を試みるように強制します。</td> </tr> <tr> <td>Select Profile</td> <td>クライアントアダプタで有効なプロファイルを選択できます。</td> </tr> <tr> <td>Auto Profile Selection</td> <td>ACU で自動プロファイル選択への追加に設定されたプロファイルのリストから、クライアントアダプタのドライバが自動的にプロファイルを選択します。</td> </tr> <tr> <td>Other Configuration Application</td> <td>ACU 以外のアプリケーションでクライアントアダプタを設定できるようにします。</td> </tr> <tr> <td>Show Connection Status</td> <td>クライアントアダプタの現在の状況に関する情報を表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	コンポーネント	説明	About Box (Help)	ACM のバージョン番号を表示し、オンラインヘルプにアクセスできるようにします。	Exit Program	すべてのクライアントアダプタで ACM を終了します。	Launch Aironet Client Utility	ACU がインストールされている場合、起動します。	Troubleshooting	トラブルシューティングユーティリティを起動します。このユーティリティを使用して、クライアントアダプタでの設定およびアソシエーションの問題を特定し、解決できます。	Preferences	ACM の実行条件を指定し、ACM ポップアップメニューに表示されるオプションを選択できます。	Turn Radio On/Off	クライアントアダプタの無線のオン/オフを切り替えます。	Reauthenticate	クライアントアダプタに対して、現在のプロファイルのユーザ名とパスワードとを使用して再認証を試みるように強制します。	Select Profile	クライアントアダプタで有効なプロファイルを選択できます。	Auto Profile Selection	ACU で自動プロファイル選択への追加に設定されたプロファイルのリストから、クライアントアダプタのドライバが自動的にプロファイルを選択します。	Other Configuration Application	ACU 以外のアプリケーションでクライアントアダプタを設定できるようにします。	Show Connection Status	クライアントアダプタの現在の状況に関する情報を表示します。
コンポーネント	説明																								
About Box (Help)	ACM のバージョン番号を表示し、オンラインヘルプにアクセスできるようにします。																								
Exit Program	すべてのクライアントアダプタで ACM を終了します。																								
Launch Aironet Client Utility	ACU がインストールされている場合、起動します。																								
Troubleshooting	トラブルシューティングユーティリティを起動します。このユーティリティを使用して、クライアントアダプタでの設定およびアソシエーションの問題を特定し、解決できます。																								
Preferences	ACM の実行条件を指定し、ACM ポップアップメニューに表示されるオプションを選択できます。																								
Turn Radio On/Off	クライアントアダプタの無線のオン/オフを切り替えます。																								
Reauthenticate	クライアントアダプタに対して、現在のプロファイルのユーザ名とパスワードとを使用して再認証を試みるように強制します。																								
Select Profile	クライアントアダプタで有効なプロファイルを選択できます。																								
Auto Profile Selection	ACU で自動プロファイル選択への追加に設定されたプロファイルのリストから、クライアントアダプタのドライバが自動的にプロファイルを選択します。																								
Other Configuration Application	ACU 以外のアプリケーションでクライアントアダプタを設定できるようにします。																								
Show Connection Status	クライアントアダプタの現在の状況に関する情報を表示します。																								
Menu Options (Defaults)	<p>ACM ポップアップメニューに表示されるオプションを指定します。</p> <p>メニュー オプション : About Box (Help) 、 Exit Program、 Launch Aironet Client Utility、 Troubleshooting、 Turn Radio On/Off、 Reauthenticate、 Select Profile、 Show Connection Status</p> <p>メニュー オプション別のオプション : Show または Hide</p> <p>メニュー オプション別のデフォルト : Show</p>																								




表 3-1 ソフトウェアコンポーネントとそのパラメータ (続き)

コンポーネントまたはパラメータ	説明
セキュリティ モジュール LEAP	<p>Install Wizard ファイル内にある LEAP サプリカントをインストールします。LEAP サプリカントをインストールすると、LEAP 認証を使用するプロファイルが ACU で作成できます。このオプションを現在選択せずに、後で LEAP を使用するプロファイルを生成する場合は、インストールプログラムを再び実行し、このオプションを選択する必要があります。</p> <p>デフォルト： オン</p> <p> (注) LEAP の有効化については、第 5 章を参照してください。</p> <p> (注) Windows XP デバイスで LEAP を選択すると、Windows XP の高速ユーザ切り替え機能は無効になります。</p>
Allow Saved LEAP User Name and Password	<p>一時的でなく、保存されているユーザ名とパスワードを使用して LEAP 認証を行うプロファイルが ACU で作成できます。このようなプロファイルを使用する場合は、保存されたユーザ名とパスワードを使用して LEAP 認証プロセスが開始されるので、ユーザ名とパスワードの入力は求められません。</p> <p>オプション： Yes または No</p> <p>デフォルト： Yes</p>
EAP-SIM	<p>Install Wizard ファイル内にある EAP-SIM サプリカントをインストールします。EAP-SIM サプリカントをインストールすると、クライアントで EAP-SIM 認証がサポートされます。このオプションを現在選択せずに、後から EAP-SIM を使用する必要が生じたときは、このインストールプログラムを再び実行し、このオプションを選択する必要があります。</p> <p>デフォルト： オフ</p> <p> (注) EAP-SIM の有効化については、第 5 章を参照してください。</p> <p> (注) EAP-SIM 認証を有効にするには、Microsoft 802.1X サプリカントをインストールした Windows 2000 または Windows XP をコンピュータで実行している必要があります。</p> <p> (注) Cisco.com から新しい EAP-SIM サプリカントをインストールした場合は、EAP-SIM オプションがオフであることを確認してください。そうでないと、Install Wizard ファイル中に含まれる EAP-SIM サプリカントによって、新しいサプリカントの設定が上書きされます。</p>

表 3-1 ソフトウェアコンポーネントとそのパラメータ (続き)

コンポーネントまたはパラメータ	説明
PEAP	<p>Install Wizard ファイル内にある PEAP サプリカントをインストールします。PEAP サプリカントをインストールすると、クライアントで PEAP 認証がサポートされます。このオプションを現在選択せずに、後から PEAP を使用する必要が生じたときは、このインストールプログラムを再び実行し、このオプションを選択する必要があります。</p> <p>デフォルト： オフ</p> <p> (注) PEAP の有効化については、第 5 章を参照してください。</p> <p> (注) シスコの PEAP 認証を有効にするには、Microsoft 802.1X サプリカントをインストールした Windows 2000 または Windows XP をコンピュータで実行している必要があります。</p> <p> (注) Windows XP の Service Pack 1 と Windows 2000 の Microsoft 802.1X サプリカントには、Microsoft の PEAP サプリカントが収められています。これは Windows のユーザ名とパスワードだけをサポートし、シスコの PEAP サプリカントと相互運用性がありません。シスコの PEAP サプリカントを使用するには、Windows XP の Service Pack 1 または Windows 2000 の Microsoft 802.1X サプリカントの後に Install Wizard をインストールします。この順序でインストールしない場合、シスコの PEAP サプリカントは Microsoft の PEAP サプリカントで上書きされます。</p>
EAP-FAST	<p>Install Wizard ファイル内にある EAP-FAST サプリカントをインストールします。EAP-FAST サプリカントをインストールすると、EAP-FAST 認証を使用するプロファイルを作成できます。このオプションを現在選択せずに、後で EAP-FAST を使用するプロファイルを生成する場合は、インストールプログラムを再び実行し、このオプションを選択する必要があります。</p> <p>デフォルト： オン</p> <p> (注) EAP-FAST サプリカントがインストールされ、Windows 2000 または XP が動作しているコンピュータでのみ有効になります。</p> <p> (注) EAP-FAST の有効化については、第 5 章を参照してください。</p> <p> (注) Windows XP で使用されるデバイスで EAP-FAST を選択すると、Windows XP の高速ユーザ切り替え機能は無効になります。</p>

表 3-1 ソフトウェア コンポーネントとそのパラメータ (続き)

コンポーネントまたはパラメータ	説明
Allow Saved EAP-FAST User Name and Password	<p>一時的なユーザ名とパスワードでなく、保存されているユーザ名とパスワードを使用して EAP-FAST 認証を行うプロファイルを ACU で作成できます。このようなプロファイルを使用する場合は、保存されているユーザ名とパスワードを使用して EAP-FAST 認証プロセスが開始されるので、ユーザ名とパスワードの入力は求められません。</p> <p>オプション： Yes または No</p> <p>デフォルト： Yes</p> <p></p> <p>(注) このパラメータは、Windows 2000 または XP が動作するコンピュータにインストールされたクライアントアダプタに対してのみ適用されます。</p>
Allow Auto-Provisioning?	<p>必要に応じて PAC (Protected Access Credentials) ファイルが自動的に取得されるようにします (たとえば、PAC の期限が切れた場合、クライアントアダプタが異なるサーバにアクセスする場合、前にプロビジョニングされた PAC と EAP-FAST ユーザ名が一致しない場合など)。</p> <p>オプション： Yes または No</p> <p>デフォルト： Yes</p> <p></p> <p>(注) このパラメータは、Windows 2000 または XP が動作するコンピュータにインストールされたクライアントアダプタに対してのみ適用されます。</p> <p></p> <p>(注) 自動プロビジョニングの有効化については、第 5 章を参照してください。</p>

- e. 選択を終了したら、**Next** をクリックします。

ステップ 17 インストールプロセスが開始し、各コンポーネントがインストールされると通知のメッセージが表示されます。次のいずれかを実行します。

- 今すぐにリブートするかどうかを尋ねるメッセージが表示されたら、**Yes** をクリックします。



(注) クライアントアダプタソフトウェアが正しくインストールされていることを確認するには、**Yes** をクリックしてコンピュータをすぐにリブートしてください。

- システムの再起動の開始を伝えるメッセージが表示されたら、**OK** をクリックしてコンピュータをリブートできるようにします。
- 次のメッセージが表示されたら、**OK** をクリックして、コンピュータをリブートします。「The installation will complete and applications will be installed when a wireless LAN client adapter is inserted.If an adapter is already inserted, remove and reinsert the adapter or reboot the machine.」

Found New Hardware 画面が表示されます。コンピュータのオペレーティングシステムによっては、**Next** をクリックする必要がある場合があります。ドライバとその他のソフトウェアコンポーネントがインストールされます。インストール時にデフォルト値を変更していなければ、Windows のシステムトレイに、ACM アイコンが表示されます。次のいずれかを実行します。

- 今すぐにリブートするかどうかを尋ねるメッセージが表示されたら、**Yes** をクリックします。



(注) クライアントアダプタソフトウェアが正しくインストールされていることを確認するには、**Yes** をクリックしてコンピュータをすぐにリブートしてください。

- システムの再起動の開始を伝えるメッセージが表示されたら、**OK** をクリックしてコンピュータをリブートできるようにします。

ステップ 18 2 番目のクライアントアダプタをインストールする場合は、コンピュータが完全にリブートされた後に、コンピュータに 2 つ目のアダプタを挿入します。コンピュータのオペレーティングシステムによっては、次のシナリオのいずれかが発生します。

- Found New Hardware Wizard 画面が表示されます。コンピュータのオペレーティングシステムによっては、**Next** をクリックする必要がある場合があります。ドライバとその他のソフトウェアコンポーネントがインストールされ、Windows システムトレイにもう一つの ACM アイコンが表示されます。コンピュータのリブートについてのメッセージが表示されたら、**Yes** または **OK** をクリックします。



(注) クライアントアダプタソフトウェアが正しくインストールされていることを確認するために、コンピュータをすぐにリブートすることをお勧めします。

- ドライバとその他のソフトウェアコンポーネントがインストールされ、Windows システムトレイにもう一つの ACM アイコンが表示されます。コンピュータのリブートについてのメッセージが表示されたら、**Yes** または **OK** をクリックします。



(注) クライアントアダプタソフトウェアが正しくインストールされていることを確認するために、コンピュータをすぐにリブートすることをお勧めします。

ステップ 19 ネットワーク設定に DHCP サーバが含まれておらず、TCP/IP を使用する予定の場合は、次の手順に従ってオペレーティングシステムを操作します。複数のクライアントアダプタをインストールしている場合、この手順を各アダプタに対して実行します。

- **Windows 2000** : **My Computer**、**Control Panel**、**Network and Dial-up Connections** の順にダブルクリックします。**Local Area Connection x** を右クリックします (x は接続の番号を表します)。**Properties**、**Internet Protocol (TCP/IP)**、**Properties** の順にクリックします。**Use the following IP address** をクリックし、コンピュータの IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイアドレスを入力します。これらの情報は、システム管理者に問い合わせてください。**OK** をクリックします。Local Area Connection Properties ウィンドウで、**OK** をクリックします。
- **Windows XP** : **Wireless Network Connection** を右クリックし、**Properties** をクリックします。**Internet Protocol (TCP/IP)**、**Properties** の順にクリックします。**Use the following IP address** をクリックし、コンピュータの IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイアドレスを入力します。これらの情報は、システム管理者に問い合わせてください。**OK** をクリックします。

ステップ 20 コンピュータを再起動するよう求めるプロンプトが表示されたら、**Yes** をクリックします。

ステップ 21 「インストールの確認」の項 (P.3-14) に進んで、インストールが成功したかどうかを確認します。インストールが成功したことを確認した後、クライアントアダプタのプロファイルを作成する場合は、第4章に進んでください。

インストールの確認

クライアントアダプタソフトウェアが正しくインストールされたことを確認するには、クライアントアダプタのLEDを確認します。インストールに成功すると、クライアントアダプタの緑色のLEDが点滅します。



(注)

インストールに失敗した場合、あるいはインストール中またはインストール後に問題が発生した場合は、第10章のインストールエラーメッセージの一覧およびトラブルシューティング情報を参照してください。

クライアントアダプタが正しくインストールされたら、Windows XP を実行したり、複数のクライアントアダプタをインストールしたりしていなければ、第4章に進むことができます。

- Windows XP を実行している場合は、次の「クライアントアダプタの設定方法の決定 (Windows XP の場合)」に進みます。
- 複数のクライアントアダプタをインストールしてある場合は、「インストール済みの複数のクライアントアダプタからの選択」の項 (P.3-16) に進みます。

クライアントアダプタの設定方法の決定 (Windows XP の場合)

Windows XP は、ACU を使用しないでクライアントアダプタを設定できる唯一のオペレーティングシステムです。したがって、コンピュータで Windows XP を実行している場合、クライアントアダプタを Windows XP と ACU のどちらを使用して設定するかを決定する必要があります。表 3-2 で、Windows XP と ACU のクライアントアダプタ関連の機能を比較しているため、参考にしてください。

表 3-2 Windows XP と ACU のクライアントアダプタ関連機能の比較

機能	Windows XP	ACU
設定パラメータ	限定的	豊富
操作機能		
プロファイルの作成	なし	あり
無線ファームウェアのアップグレード	なし	あり
カードをリブート / 取り出しせずにクライアントアダプタを再起動	なし	あり
無線のオン / オフ	なし	あり
セキュリティ		
静的な WEP	あり	あり
動的な WEP による LEAP 認証	なし	あり
動的 WPA での EAP-FAST 認証	なし	あり
動的 WEP によるホストベース EAP 認証	あり	あり
診断		
ステータス画面	限定的	豊富
統計画面 (送受信)	なし	あり
サイト調査ツール	なし	あり
RF リンクテストツール	なし	あり
リンクステータスメーター (グラフィック表示)	なし	あり

次のいずれかを実行します。

- クライアントアダプタを Windows XP ではなく ACU で設定する場合は、次の手順に従います。
 - a. **My Computer**、**Control Panel**、および **Network Connections** をダブルクリックします。
 - b. **Wireless Network Connection** を右クリックし、**Properties** をクリックします。
 - c. **Wireless Networks** タブを選択し、**Use Windows to configure my wireless network settings** チェックボックスをオフにします。
 - d. ACU を使用してクライアントアダプタを設定する場合は、第 4 章および第 5 章の手順に従ってください。
- ACU ではなく Windows XP でクライアントアダプタを設定する予定の場合は、付録 D を参照して、その手順に従います。
- クライアントアダプタを Windows XP で設定する予定であるが、ACU の診断ツールを使用したいという場合は、付録 D を参照して Windows XP でアダプタを設定した後、第 7 章の手順に従って ACU の診断ツールを使用します。

インストール済みの複数のクライアントアダプタからの選択

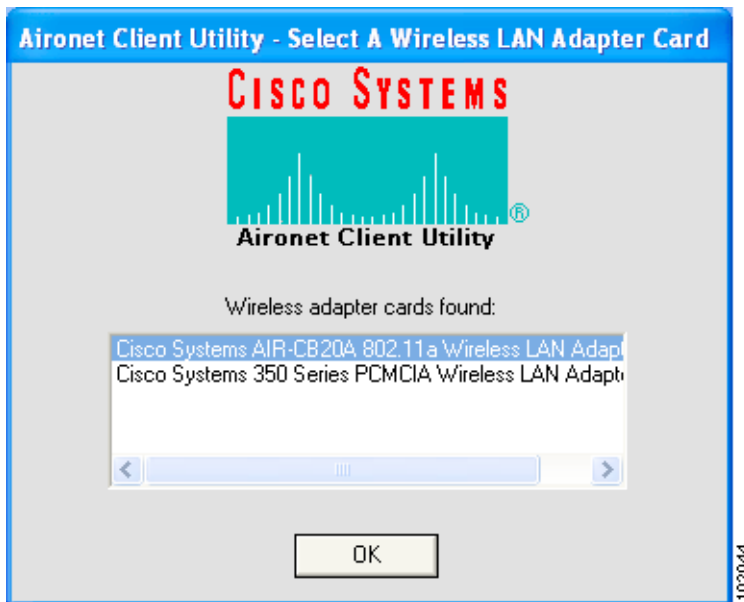
複数のクライアントアダプタがコンピュータにインストールされている場合、次の手順に従って、ACU でプロファイルを設定するクライアントアダプタを指定してください。

- ステップ 1** デスクトップで **Aironet Client Utility (ACU)** アイコンをダブルクリックするか、**My Computer > Control Panel > Aironet Client Utility** の順にクリックして ACU を開きます。Select A Wireless LAN Adapter Card 画面が表示されます (図 3-3 を参照)。



- (注) Select A Wireless LAN Adapter Card 画面は、ACU を起動したときに、複数のカードがコンピュータに挿入されている場合、またはカードは挿入されていないが複数のカードがインストールされている場合に ACU を起動すると表示されます。

図 3-3 Select A Wireless LAN Adapter Card 画面



- ステップ 2** 利用可能なカードのリストから、設定するカードを選択し、**OK** をクリックします。

- ステップ 3** 第 4 章に進んで、このカードのプロファイルを作成してください。